

7都薬会発第 442 号
令和 8 年 2 月 7 日

地区薬剤師会 会長 殿

公益社団法人 東京都薬剤師会
会 長 高 橋 正 夫

地域における薬局の医薬品情報等の共有に係る
システムベンダーへの確認結果の情報提供について

平素より東京都薬剤師会の事業運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先日ご連絡いたしました「地域における薬局の医薬品情報等の共有に係る情報の取扱い、システム及び運用等に関する確認のお願い（重要）」に関連し、本会において、全国的に利用実績や問い合わせの多い代表的な以下 3 社の医薬品情報共有システムについて、日薬通知に基づく確認事項を各社へ照会しておりました。

- ・株式会社ファルモ（Everyconnect）
- ・エスト株式会社（e-Stock）
- ・株式会社メディカルシステムネットワーク（リンクル ちいき版）

今般、各社より回答が得られましたので、その内容を取りまとめた資料を別添のとおり送付いたします。

つきましては、本資料を貴会内での検討や、会員薬局への情報提供の参考としてご活用いただきますようお願いいたします。

なお、掲載の 3 社以外のシステムにつきましては、各ベンダーへ直接ご確認いただく必要があることを申し添えます。

本件の趣旨をご理解のうえ、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

担当事務局：薬局業務課
E メール：gyoumu@toyaku.or.jp
TEL：03-3518-9289

医薬品情報共有システム運用チェックリスト（令和8年1月 日本薬剤師会）

I. データ送信方法・クライアントソフト【重大リスク領域】

No	評価項目	○	△	×	備考
1-1	常駐型ソフトの有無・送信方式が明確に説明されている	■	□	□	必須
1-2	常駐型ソフトを使用する場合、アウトバウンド通信のみである	■	□	□	必須
1-3	サーバー側から薬局 PC への任意操作・命令実行機能がない	■	□	□	必須
1-4	ソフトウェア更新機能に電子署名等の改ざん防止措置がある	□	■	□	
1-5	実行ファイルに正当なコードサイニング証明書が付与されている	□	■	□	

II. ネットワーク接続・通信セキュリティ【サプライチェーン対策】

No	評価項目	○	△	×	備考
2-1	TLS1.2 以上による暗号化通信を使用している	■	□	□	必須
2-2	脆弱な SSL/TLS（1.0 等）を使用していない	□	■	□	
2-3	クライアント認証（証明書等）を実施している	■	□	□	
2-4	通信元 IP 制限・アクセス制御を実施している	□	□	■	
2-5	薬局間の直接通信が発生しない構成である	■	□	□	必須
2-6	ネットワーク構成がスター型（サーバー集約型）である	■	□	□	
2-7	参加薬局に最低限のセキュリティ要件（セキュリティソフトの導入や最新の OS へのバージョンアップなど）の遵守状況を確認する仕組みがある	□	□	■	
2-8	取り扱いデータのバックアップが取られている	■	□	□	

III. データ取り扱い・プライバシー保護【患者保護・倫理領域】

No	評価項目	○	△	×	備考
3-1	個人情報は送信前に薬局側で匿名化・除去されている	■	□	□	必須
3-2	個人情報を収集・保存しない設計である	■	□	□	
3-3	希少疾病用医薬品等のモザイク効果対策がある	■	□	□	必須
3-4	特定医薬品の在庫秘匿・非表示設定が可能である	■	□	□	
3-5	「在庫あり＝即時提供可ではない」と同等の注意喚起がなされている	■	□	□	必須
3-6	表示粒度（あり／要問い合わせ等）を制御できる	□	■	□	

IV. 監視体制・インシデント対応【検知・証跡】

No	評価項目	○	△	×	備考
4-1	アクセスログ・通信ログを取得・保存している	■	□	□	
4-2	「誰が・いつ・どの薬局のデータにアクセスしたか」を追跡可能	■	□	□	
4-3	IDS/IPS または WAF を導入している	■	□	□	
4-4	異常検知時の自動アラート通知体制がある	■	□	□	
4-5	定期的なログ監査を実施している	■	□	□	
4-6	年1回以上の侵入テストを実施	□	■	□	
4-7	脆弱性診断結果の要約を提出可能	■	□	□	必須
4-8	参加薬局向けインシデント対応フローが整備されている	■	□	□	

V. ガバナンス・契約・保守体制【対外責任】

No	評価項目	○	△	×	備考
5-1	医療情報システム安全管理ガイドライン第6.0版に対応している	■	□	□	必須
5-2	サイバーセキュリティチェックリストを提出可能	■	□	□	必須
5-3	MDS/SDS を提出可能	■	□	□	
5-4	契約終了時のデータ消去・返却ルールが定められている	■	□	□	
5-5	事故発生時の責任分界を定めた文書が存在する	■	□	□	
5-6	契約形態（薬剤師会・薬局・ベンダー）が明確である	■	□	□	
5-7	データ所有権の帰属が明記されている	□	■	□	
5-8	データの二次利用に関する規定が明確である	■	□	□	
5-9	リモートメンテナンスの有無と安全管理措置が明示されている	■	□	□	
5-10	第三者認証（ISMS 等）を取得している	■	□	□	

○：要件を満たす

△：一部未対応（期限付き改善で可）

×：未対応

※ 5-7 補足

患者様の個人情報情報は患者様個人に帰属していることは個人情報保護法上明らかであり、明記はございません。また、各薬局との間の機密保持を明記しております。

医薬品情報共有システム運用チェックリスト(令和8年1月 日本薬剤師会)

本回答は医薬品情報共有機能 e-Stock のみを対象とし、安否確認・救護所等の eST-aid 機能は評価対象外です。

なお、本提出はe-Stock のうち 採用品目情報（数量を登録・表示しない設計）を対象とします。その他の不動態在庫等の機能は本チェックリスト提出の対象外です（詳細は添付文書参照）。

I. データ送信方法・クライアントソフト【重大リスク領域】

		備考
1-1 常駐型ソフトの有無・送信方式が明確に説明されている【必須】	○	Web完結型SaaS（ブラウザ利用）。端末常駐ソフトはありません。
1-2 常駐型ソフトを使用する場合、アウトバウンド通信のみである【必須】	対象外	常駐型ソフトを利用しないため対象外。
1-3 サーバー側から薬局 PC への任意操作・命令実行機能がない【必須】	対象外	クライアントはブラウザのみ。端末上で任意コマンド実行するモジュール／常駐エージェントなし。当社側から薬局PCを遠隔操作する機能はありません。
1-4 ソフトウェア更新機能に電子署名等の改ざん防止措置がある	対象外	クライアントへのインストール／更新機能なし（Web完結）。
1-5 実行ファイルに正当なコードサイニング証明書が付与されている	対象外	実行ファイル（exe等）配布なし。

II. ネットワーク接続・通信セキュリティ【サブライチェーン対策】

2-1 TLS1.2 以上による暗号化通信を使用している【必須】	○	
2-2 脆弱な SSL/TLS (1.0 等) を使用していない	○	
2-3 クライアント認証（証明書等）を実施している	×	端末証明書等のクライアント認証は未実施（ID/パスワードによる認証のみ）。ログイン失敗時ロック／レート制限等を実施。初期パスワードはランダム生成で発行。初回ログイン時の変更は必須ではありません（適切な管理を利用施設側で実施）。
2-4 通信元 IP 制限・アクセス制御を実施している	×	送信元IP制限は未実施。代替統制としてWAF、監視・アラート、レート制御等を実施。
2-5 薬局間の直接通信が発生しない構成である【必須】	○	薬局端末同士の直接通信はなく、当社サーバ経由でのみ情報を表示。
2-6 ネットワーク構成がスター型（サーバー集約型）である	○	
2-7 参加薬局に最低限のセキュリティ要件（セキュリティソフトの導入や最新の OS へのバージョンアップなど）の遵守状況を確認する仕組みがある	×	OS/ブラウザ更新・ウイルス対策等は利用施設側の運用として求めています。当社が遵守状況を定期的に検証・監査する仕組みは未整備。代替統制としてWAF、監視・アラート、ログ保全等を実施。必要に応じてアカウント停止等が可能。
2-8 取り扱いデータのバックアップが取られている	○	バックアップを取得し、障害児の復旧に備えています。

III. データ取り扱い・プライバシー保護【患者保護・倫理領域】

3-1 個人情報送信前に薬局側で匿名化・除去されている【必須】	○	患者個人情報（レセコン／電子薬歴等）を送受信する仕組みがなく、設計上、患者個人情報を送信しません（採用品目情報のみ）。
3-2 個人情報を収集・保存しない設計である	○	患者個人情報は収集・保存しません（連携機能なし）。一方、サービス提供・認証・不正利用防止のため、施設アカウント情報およびアクセスログ（IP、日時等）を取得・保存します。
3-3 希少疾病用医薬品等のモザイク効果対策がある【必須】	○	希少薬等は、(1)品目の登録削除により共有対象から除外、(2)品目ごとの検索対象外（表示抑制）設定により表示を抑制可能です。
3-4 特定医薬品の在庫秘匿・非表示設定が可能である	○	検索対象外（表示抑制）設定により表示抑制が可能。品目の登録削除も可能。
3-5 「在庫あり＝即時提供可ではない」と同等の注意喚起がなされている【必須】	対象外	採用品目情報は数量・在庫ステータスを表示しないため、「在庫あり」表示自体がありません。提供可否は当事者間確認が前提。
3-6 表示粒度（あり／要問い合わせ等）を制御できる	対象外	採用品目情報は数量・在庫ステータスを表示しないため対象外。

IV. 監視体制・インシデント対応【検知・記録】

4-1 アクセスログ・通信ログを取得・保存している	○	ログには、リクエスト時刻、送信元IP、リクエスト先、レスポンスコード、User-Agent等が含まれます（取得可能な範囲）。保存期間は運用上必要な合理的期間とし、アクセス権限は必要最小限に限定します。
4-2 「誰が・いつ・どの薬局のデータにアクセスしたか」を追跡可能	×	施設（薬局）アカウントのみで利用する設計のため、個人別の操作主体（誰が）は特定できません。また現状は閲覧／検索の対象となった施設（薬局）を網羅的に追跡できる監査ログ出力は未提供。
4-3 IDS/IPS または WAF を導入している	○	
4-4 異常検知時の自動アラート通知体制がある	○	
4-5 定期的なログ監査を実施している	×	インシデント発生時および要請があった場合に、保存ログに基づき確認・調査を実施（定期的なログ監査は未実施）。
4-6 年1回以上の侵入テストを実施	△	年1回以上の侵入テストを今後予定
4-7 脆弱性診断結果の要約を提出可能【必須】	△	現時点で脆弱性診断は未実施。2026年6月末までに脆弱性診断を実施し、要約（範囲、指摘概要、重大度、対応方針、対応状況）を提出可能とします。以降、年1回の実施を予定します。
4-8 参加薬局向けインシデント対応フローが整備されている	○	障害・漏えい時の通知フローを規定

V. ガバナンス・契約・保守体制【対外責任】

5-1 医療情報システム安全管理ガイドライン第 6.0 版に対応している【必須】	対象外	患者個人情報・診療/調剤情報等の「医療情報」を保存・処理・伝送しません（電子薬歴／レセコン連携なし）。そのため医療情報を前提とする要求は全面適用の対象外ですが、同ガイドラインの考え方を参照し、アクセス制御、暗号化、ログ管理、脆弱性対応、バックアップ、委託先管理、インシデント対応等の一般的な安全管理措置を実施しています。
5-2 サイバーセキュリティチェックリストを提出可能【必須】	○	
5-3 MDS／SDS を提出可能	対象外	医療情報システムとして患者情報を取り扱う前提の文書のため対象外。
5-4 契約終了時のデータ消去・返却ルールが定められている	○	契約終了またはアカウント削除手続に従い、サービスデータ（当該施設が登録した施設情報・医薬品情報等）を削除します。ただし、システムの保全・復旧のためのバックアップは一定期間保持され、順次上書きされます。また、不正利用調査・インシデント対応等のため、ログ等の一部情報を合理的期間保持する場合があります。
5-5 事故発生時の責任分界を定めた文書が存在する	○	
5-6 契約形態（薬剤師会・薬局・ベンダー）が明確である	○	
5-7 データ所有権の帰属が明記されている	○	データの管理主体は薬剤師会／利用施設(薬局)、当社は受託者
5-8 データの二次利用に関する規定が明確である	○	
5-9 リモートメンテナンスの有無と安全管理措置が明示されている	○	当社側から薬局PCを遠隔操作する機能はありません(薬局PCをリモートメンテナンスすることはありません)。一方、Web完結SaaSの保守運用として、クラウド上に存在する弊社サーバーにリモートメンテナンスを障害対応・不正利用調査等で必要な範囲で実行します。安全管理措置は利用規約・プライバシーポリシー等に基づき実施。
5-10 第三者認証（ISMS 等）を取得している	×	当社としてのISMS等の第三者認証は現時点で未取得です。ただし、サービス基盤は ISO27001/27017、SOC等の認証を取得済みのAWSを採用し、当社としてもアクセス制御、暗号化、ログ管理、脆弱性対応、バックアップ、委託先管理、インシデント対応等の安全管理措置を実施しています。第三者認証の取得は今後の検討事項です。

○：要件を満たす

△：一部未対応（期限付き改善で可）

×：未対応

チェックリスト添付文書

提出者：エスト株式会社（以下「当社」）

1. 提出スコープ（重要）

本提出は、当社サービスのうち e-Stock（医薬品情報共有機能）の採用品目情報（数量を登録・表示しない設計）に関する登録・検索・閲覧を対象とします。

※eST-aid 機能、および e-Stock のうち(不動産情報など)数量等を扱う機能は本提出の評価対象外です。

2. 取り扱う情報（サービス提供・運用に必要な範囲）

- ・施設情報（薬局単位）：施設名、所在地、電話番号、開設許可関連情報 等
- ・医薬品関連情報（施設単位）：採用品目情報（品目情報のみ。数量情報は含みません）
- ・運用・セキュリティ情報：ログイン情報、アクセスログ（IP アドレス、日時、リクエスト情報等）

3. 取り扱わない情報

- ・レセコン／電子薬歴等の患者個人情報の収集・保存・送信（連携機能なし）
- ・診療情報・調剤情報等のいわゆる医療情報の保存・処理・伝送

4. 提供形態・通信・構成

- ・Web 完結型 SaaS(ブラウザのみ。端末常駐ソフト／エージェント／実行ファイル（exe 等）配布なし)
- ・通信は TLS1.2 以上。薬局端末同士の直接通信は行わないサーバ集約型（スター型）

5. 認証・ログ（現状）

- ・e-Stock は 施設（薬局）アカウントのみで利用（個人アカウントによる機能は提供していません）
- ・ID/パスワード認証。ログイン失敗時のロック／レート制限等を実施
- ・アクセスログを保存（ただし施設アカウント運用のため個人単位の「誰が」は特定不可。閲覧先施設の網羅的追跡ログも現状未提供）
- ・ログ保存期間は運用上必要な合理的期間

6. バックアップ／脆弱性診断

- ・取り扱いデータはバックアップを取得し、障害時の復旧に備えています
- ・脆弱性診断は現時点で未実施
- ・2026 年 6 月末までに脆弱性診断を実施し、結果要約（診断範囲、指摘概要、重大度、対応方針、対応状況）を提出可能とします（以降、年 1 回の実施予定）

提出者:株式会社メディカルシステムネットワーク

対象製品:LINCLEちいき版

I. データ送信方法・クライアントソフト【重大リスク領域】

No	評価項目	○	△	✖	備考	コメント
1-1	常駐型ソフトの有無・送信方式が明確に説明されている	☒	☐	☐	必須	
1-2	常駐型ソフトを使用する場合、アウトバウンド通信のみである	☒	☐	☐	必須	
1-3	サーバー側から薬局PC への任意操作・命令実行機能がない	☒	☐	☐	必須	
1-4	ソフトウェア更新機能に電子署名等の改ざん防止措置がある	☐	☐	☒		
1-5	実行ファイルに正当なコードサイニング証明書が付与されている	☒	☐	☐		

II. ネットワーク接続・通信セキュリティ【サプライチェーン対策】

No	評価項目	○	△	✖	備考	コメント
2-1	TLS1.2 以上による暗号化通信を使用している	☒	☐	☐	必須	
2-2	脆弱なSSL/TLS(1.0 等)を使用していない	☒	☐	☐		
2-3	クライアント認証(証明書等)を実施している	☐	☐	☒		
2-4	通信元IP 制限・アクセス制御を実施している	☐	☐	☒		
2-5	薬局間の直接通信が発生しない構成である	☒	☐	☐	必須	
2-6	ネットワーク構成がスター型(サーバー集約型)である	☒	☐	☐		
2-7	参加薬局に最低限のセキュリティ要件(セキュリティソフトの導入や最新のOS へのバージョンアップなど)の遵守状況を確認する仕組みがある	☐	☐	☒		
2-8	取り扱いデータのバックアップが取られている	☒	☐	☐		

III. データ取り扱い・プライバシー保護【患者保護・倫理領域】

No	評価項目	○	△	✖	備考	コメント
3-1	個人情報は送信前に薬局側で匿名化・除去されている	☒	☐	☐	必須	
3-2	個人情報を収集・保存しない設計である	☒	☐	☐		
3-3	希少疾病用医薬品等のモザイク効果対策がある	☒	☐	☐	必須	
3-4	特定医薬品の在庫秘匿・非表示設定が可能である	☐	☐	☒		
3-5	「在庫あり＝即時提供可ではない」と同等の注意喚起がなされている	☒	☐	☐	必須	調剤実績を共有していることを導入時点でお知らせしています。「在庫あり」の表示は行っていません。
3-6	表示粒度(あり／要問い合わせ等)を制御できる	☐	☐	☒		

IV. 監視体制・インシデント対応【検知・証跡】

No	評価項目	○	△	✖	備考	コメント
4-1	アクセスログ・通信ログを取得・保存している	☒	☐	☐		
4-2	「誰が・いつ・どの薬局のデータにアクセスしたか」を追跡可能	☒	☐	☐		
4-3	IDS/IPS または WAF を導入している	☒	☐	☐		
4-4	異常検知時の自動アラート通知体制がある	☒	☐	☐		
4-5	定期的なログ監査を実施している	☒	☐	☐		
4-6	年1回以上の侵入テストを実施	☐	☐	☒		
4-7	脆弱性診断結果の要約を提出可能	☐	☐	☒	必須	脆弱性診断を実施済みです。診断結果については第三者開示は実施ベンダーから許容されていません。
4-8	参加薬局向けインシデント対応フローが整備されている	☐	☐	☒		

V. ガバナンス・契約・保守体制【対外責任】

No	評価項目	○	△	✖	備考	コメント
5-1	医療情報システム安全管理ガイドライン第6.0 版に対応している	☒	☐	☐	必須	
5-2	サイバーセキュリティチェックリストを提出可能	☒	☐	☐	必須	
5-3	MDS/SDS を提出可能	☒	☐	☐		
5-4	契約終了時のデータ消去・返却ルールが定められている	☒	☐	☐		
5-5	事故発生時の責任分界を定めた文書が存在する	☒	☐	☐		
5-6	契約形態(薬剤師会・薬局・ベンダー)が明確である	☒	☐	☐		
5-7	データ所有権の帰属が明記されている	☒	☐	☐		
5-8	データの二次利用に関する規定が明確である	☒	☐	☐		
5-9	リモートメンテナンスの有無と安全管理措置が明示されている	☐	☐	☒		
5-10	第三者認証(ISMS 等)を取得している	☒	☐	☐		

○:要件を満たす

△:一部未対応(期限付き改善で可)

✖:未対応